

平成29年度

グループホーム野瀬 事業報告

(期間:平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月末)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	結果値	実施報告
地域貢献 の視点	・地域行事、地域活動への参加。	・野瀬地区の行事（夏祭り、とんど）への参加	地域行事参加回数	年2回/適宜	年7回	・年2回（8月、12月）の、ふれあい昼食会への参加と、野瀬地区の 行事（納涼祭、芋掘り、とんど）への参加。納涼祭は入居者様2名参加。芋掘りは入居者様1名参加。とんどは、インフルエンザの流行もあり、管理者のみ参加。年2回の草刈りにも管理者のみ参加。
		年2回のふれあい昼食会での交流、さらに野瀬				
		地区の活動（草刈り等）への協力。				
収支 の視点	・稼働率の維持。	・適切な処置を早期に行い、入院者を出さない	稼働率	98%	97%	・5月に3名の入居者様が特養へ移られ、新たな入居者様が入居される。入れ替わりの期間は短く出来たものの、9月頃より骨折による入院が3名、骨折入院より退院され、ひと月あまりで胆のう炎により再度の入院があった。入院中にも脳梗塞を発症され、入院日が伸びた。結果、稼働率が目標値に達しなかった。
		よう努める。				
利用者 の視点	・セラピー活動	・委員を中心に、セラピー活動を定義付けし直す。	セラピー活動の明確化	活動回数	年間行事に対して	・花見などの外出行事の際に雨が多く、急遽室内での行事に変わることが多かった。行事計画を組むのが遅く未実行になった行事もあった。 ・小町ユニットでは5月に3名の入居者様が入替わったので昨年のグループホームの一年の様子をスライドショーにて紹介させて頂いた。 ・式部ユニットでは看取りを題材にした講演を家族様と共に行った。 ・小町ユニットでは11月に家族様参加型の日帰り旅行を実施する。姫路の平和資料館へ行き、久しぶりの家族様の旅行を楽しんで頂いた。
					全てはできず。	
	・家族交流会	・両ユニットで、それぞれ6月に行い、入居者様	開催回数	年2回	年3回	
		と家族様、職員の交流を図り、諸課題についての理解、協力を得る。				
業務プロセス の視点	・委員会活動の強化	・各担当の委員が中心となつての発議、働き	ユニット会議	1回/毎月	あまり定着せず。	・毎月、委員会などがないため、毎月のユニット会議での発言はあまりなく、委員としての活動があまり明確になっていない委員もある。
		かけで業務分担。				
学習と成長 の視点	・介護力の向上	・介護職員としての技術、知識の向上を図る。	利用者対応	習熟度確認回数	出来ていない部分	・ユニット会議内による勉強会の実施により、技術、知識の向上を図る。 ・セラピー委員による年間行事の作成やセラピー参加記録の記入により、セラピー活動の明確化が少しずつ図れてきている。
					がある。	
	・セラピー活動の視点	・セラピー委員会によるセラピー活動の再度	セラピー活動	活動回数	80%ほど。	
		明確化と共に、その指針に従って個別にも行えるようにする。				